

2018年3月期決算説明会

2018年5月29日

 図書印刷株式会社 (7913 : 東証1部)

1 2018年3月期決算とトピックス

2 既存事業の収益改善について

3 2019年3月期見通し

4 中期経営計画（2017年度～2019年度）の進捗状況

5 ご参考（会社概要・特徴など）

1 2018年3月期決算とトピックス

2 既存事業の収益改善について

3 2019年3月期見通し

4 中期経営計画（2017年度～2019年度）の進捗状況

5 ご参考（会社概要・特徴など）

セグメント名称の変更： 事業構造の変化に対応

2017年3月期

印刷事業（出版・商業・新聞）



教科書出版事業（*）

* 学校図書が担当



2018年3月期

情報デザイン事業

- 出版印刷分野
- マーケティング分野
- 新聞印刷分野

教育ソリューション事業

- K G E デュケーション H D（新設）
- 学校図書（完全子会社化）
- 桐原書店（51%連結子会社化）

目的：事業領域拡大と教育ビジネス強化

情報デザイン事業

- ① 市場環境変化に適応した事業体制見直し
- ② バリューチェーン拡大と高付加価値化

教育ソリューション事業

- ① 幼児からシニアまでを対象とした教育ソリューションの提供
- ② 英語を軸とした教育ビジネスの展開、I C T 教育への対応強化

2018年3月期決算のポイント

売上高 **536**億円 (▲**0.3%**) 営業利益 **55**百万円 (▲**80.5%**)

出版印刷分野

売上： ▲**5.3%**
(市場： ▲**6.9%**)

市場縮小の影響

- 出版社からの受注が大幅に減少
- 特にコミックスは電子化の影響で▲**10%弱** (市場： ▲**13.0%**)
- 対して学習参考書は堅調 **+ 10%強** (市場： **微増**)

マーケティング分野

売上： ▲**3.9%**
(市場： **+ 1.6%**)

販促手法のデジタル化対応に遅れ

- プロモーションメディア費 (市場： ▲**1.5%**) は紙媒体が軒並み減少、
- インターネット広告(市場： **+ 17.6%**) は伸長し、デジタルシフトが鮮明に
⇒販売促進手法が紙とデジタルを併用するスタイルが一般化

教育ソリューション 事業

桐原書店の期中連結子会社化効果もあり、
営業利益を確保 (桐原書店：2017年11月から連結対象)

売上： **4,096**百万円
営業利益： **181**百万円

2018年3月期決算ハイライト① (全体)

単位：百万円	2017年 3月期	2018年 3月期	前期比	2018年3月期 期初予想	増減額
売上高	53,842	53,684	▲0.3%	54,000	▲316
営業利益	283 (0.5%)	55 (0.1%)	▲80.5%	600	▲545
経常利益	788	577	-	950	▲373
親会社帰属 当期純利益	10,687	875	-	500	+375

- **売上高**： 出版印刷・マーケティング分野の落ち込みを桐原書店の連結子会社化でカバーして微減
- **営業利益**： 既存事業の売上減により原価削減が追い付かず大幅な減少
- **親会社帰属当期純利益**： 株式売却益を計上

2018年3月期決算ハイライト② (事業別売上高)

単位：百万円	2017年 3月期	2018年 3月期	前期比 (%)
売上高	53,842	53,684	▲0.3%
情報デザイン事業	51,883	49,588	▲4.4%
出版印刷分野	29,103	27,555	▲5.3%
マーケティング分野	17,697	17,004	▲3.9%
新聞印刷分野	5,081	5,028	▲1.0%
教育ソリューション事業	1,958	4,096	+109.1%
学校図書	1,958	2,036	+4.0%
(※) 桐原書店	-	2,060	-

(※) 2017年11月～2018年3月：5か月連結

- 情報デザイン事業：市場縮小やデジタルシフトの影響で紙媒体受注が減少
- 教育SOL事業：新科目追加採択と桐原書店の連結子会社化による効果で増収

2018年3月期決算ハイライト③ (事業別営業利益)

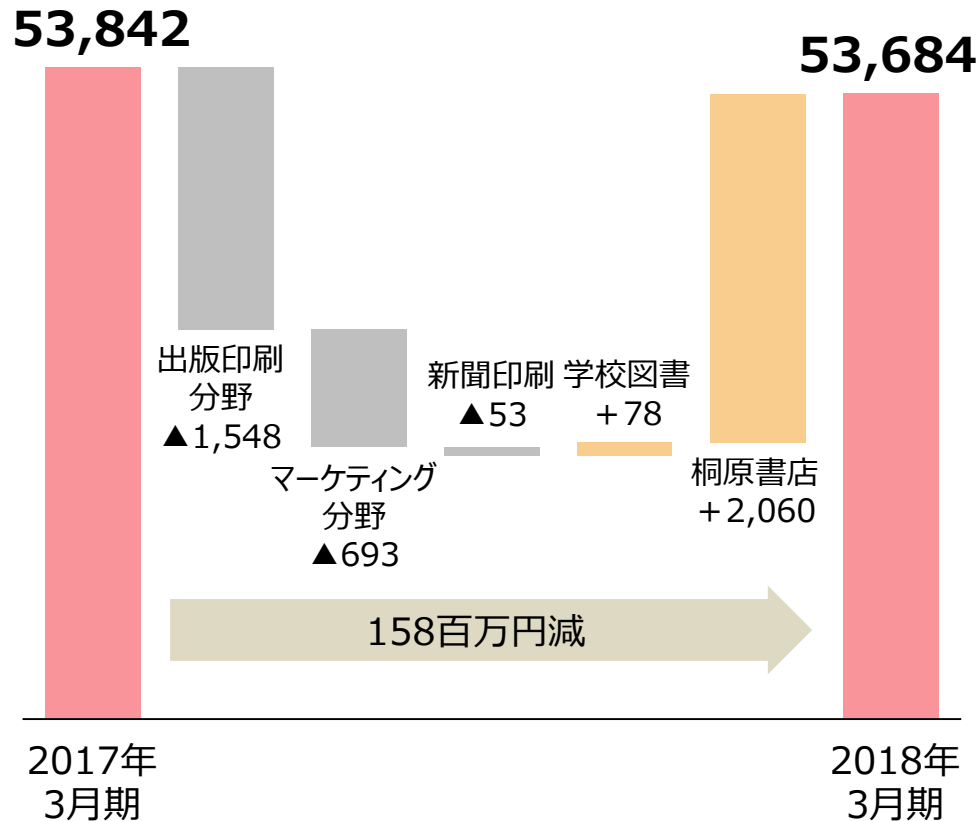
単位：百万円		2017年 3月期	2018年 3月期	増減額
営業利益		283	55	▲228
	情報デザイン事業	411	▲122	▲533
	出版印刷・マーケティング分野	249	▲215	▲464
	新聞印刷分野	162	92	▲70
	教育ソリューション事業	▲131	181	+312
	学校図書	▲131	▲296	▲165
	桐原書店	-	477	+477
連結調整		3	▲3	▲6

- 情報デザイン事業：想定を上回る売上減に対して原価削減が追いつかず赤字
- 教育SOL事業：桐原書店の連結子会社化による効果で増益

2018年3月期決算概要・業績要因分析

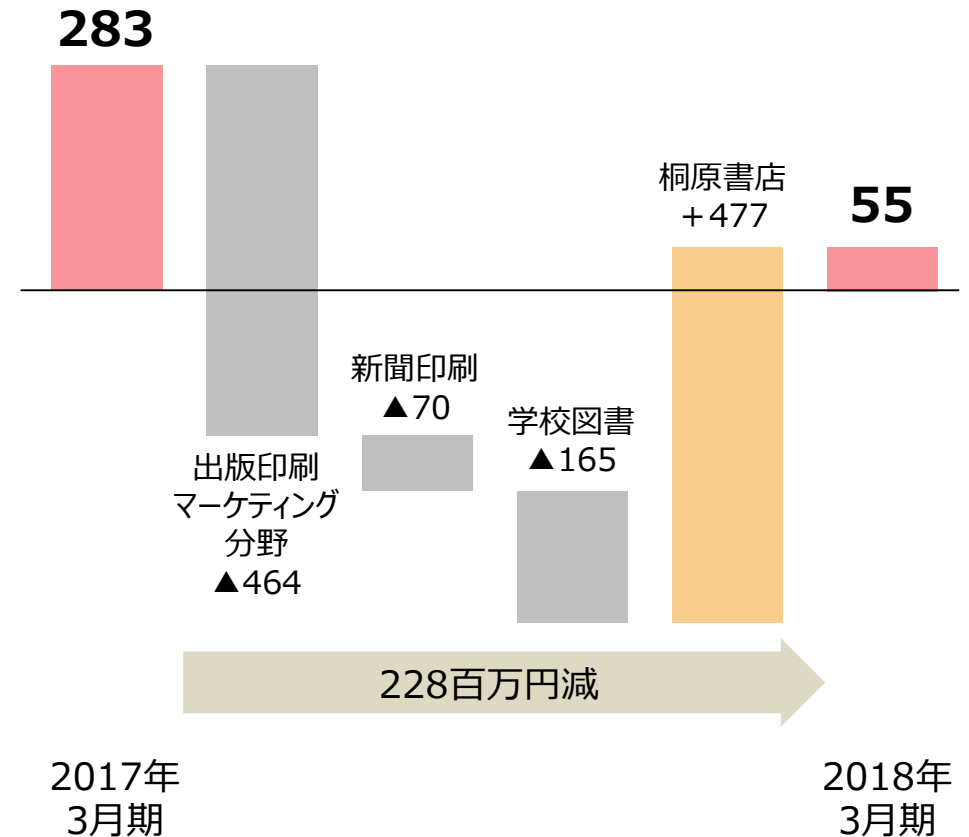
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



2018年3月期・キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円	2017年 3月期	2018年 3月期	今期の概要
現金及び現金同等物の期首残高	12,673	19,386	
営業活動キャッシュ・フロー	3,407	▲3,808	法人税等の支払 ▲5,267
投資活動キャッシュ・フロー	3,493	4,213	有価証券の償還 +6,500 有形固定資産の取得 ▲1,991
財務活動キャッシュ・フロー	▲188	▲1,214	長期借入金の減少 ▲856
現金及び現金同等物の増減額	6,713	▲809	
現金及び現金同等物の期末残高	19,386	18,576	

- 法人税等の支払により、営業活動キャッシュ・フローが減少
- 有価証券の償還等により、投資活動キャッシュ・フローが増加

1 2018年3月期決算とトピックス

2 **既存事業の収益改善について**

3 2019年3月期見通し

4 中期経営計画（2017年度～2019年度）の進捗状況

5 ご参考（会社概要・特徴など）

- **印刷需要の想定以上の減少・・・デジタル化による従来の印刷需要減少が急激に進行している**

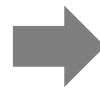
印刷事業の激変

出版印刷（+新聞印刷）

- メディアのデジタル化
- 紙のコミック・雑誌需要の大幅減少
※ 出版市場は直近で6.9%減少

商業印刷

- 紙媒体のみの販促機会の減少
- 販促のメディアミックス・デジタル化
※ 広告市場のポモーションメディア費は直近で1.5%減少



情報デザイン事業の収益改善

ソリューション指向への転換
(デジタルと紙媒体の融合)

人員の最適配分
(成長・未開拓分野への配置転換)

工場の省力化・省人化
(最適生産体制の確立)

● 早期の収益改善へ向け様々な施策を実施

売上 拡大

1. プロデューサーやプランナーの経験者採用強化による企画力向上
2. CDG社との業務提携締結
3. 投資ファンドを活用したベンチャー企業との新ビジネス創出推進
4. ITシステム会社提携によるBPO事業強化
5. 教育系出版物受注に対する取組強化
6. 個人目標管理制度（MBC）の導入

+

収益 改善

1. 基幹システムの全面刷新着手
2. 製本加工の自動化・省力化推進
3. 多能工化と作業能率改善
4. 小ロット向け高効率設備の導入
5. 市場での希少設備高付加価値化（合紙・上製ライン刷新）
6. 原価の見える化と管理機能強化

● 引き続き、収益改善へ向けて活動を加速

売上拡大

- 1.プロデューサー機能強化によるソリューション型営業の展開
- 2.多様な出版ニーズに対応したデジタルショートラン（DSR）ラインの導入
- 3.BPO・デジタル部門統合によるBPO事業拡大
- 4.教育関連分野サービスの開発強化
- 5.アライアンス・M & A 推進による事業領域拡大

**紙主体の
受注領域からの脱却**

収益改善

- 1.マーケットに見合った生産体制の抜本的見直し（人と設備）
- 2.工場繁閑に応じた柔軟な人員配置による外部費用削減
- 3.生産性向上と内製化による利益増
- 4.価格転嫁と物流コスト適正化による物流収支改善
- 5.業務システム見直し（設計・実装フェーズへ）

**損益分岐点売上高の
引き下げ**

1 2018年3月期決算とトピックス

2 既存事業の収益改善について

3 2019年3月期見通し

4 中期経営計画（2017年度～2019年度）の進捗状況

5 ご参考（会社概要・特徴など）

- **中期経営計画（2017～2019年度）の2年目、2019年度計画達成に向けた重要な年**
- **事業環境変化の想定以上の進行を踏まえ、既存事業の収益改善を着実に実施**
- **教育ソリューション事業は、K GエデュケーションH Dを中心として英語教育を軸に事業拡大を図り、増収を見込む**



増収増益予想とするも、

- ① **情報デザイン事業の構造転換に対する投資加速**
- ② **教育ソリューション事業を含めた更なる事業領域拡大に向けて費用が増加することから営業利益率は低水準**

2019年3月期業績予想 (全体)

単位：百万円	2018年 3月期実績	2019年 3月期予想	増減額	前期比 (%)
売上高	53,684	55,000	+1,316	+2.4%
営業利益	55 (0.1%)	200 (0.4%)	+145	+261.4%
経常利益	577	600	+23	+3.8%
親会社帰属 当期純利益	875	200	▲675	▲77.2%

売上高

- 情報デザイン事業 市場変化に適応した事業活動の見直し加速
- 教育SOL事業 英語教育を軸にした事業拡大に向けた取組強化

営業利益

- 既存事業の収益改善による収益力向上

親会社帰属
当期純利益

- 前期の有価証券売却による特別利益が無いこと
- 桐原書店連結子会社化による非支配株主持分利益の増加

2019年3月期業績予想 (事業別売上高)

単位：百万円	2018年 3月期実績	2019年 3月期予想	増減額	前期比 (%)
売上高	53,684	55,000	+1,316	+2.4%
情報デザイン事業	49,588	49,500	▲88	▲0.2%
出版印刷分野	27,555	26,700	▲855	▲3.1%
マーケティング分野	17,004	17,800	+796	+4.7%
新聞印刷分野	5,028	5,000	▲28	▲0.6%
教育ソリューション事業	4,096	5,500	+1,404	+34.3%
学校図書	2,036	2,100	+64	+3.1%
桐原書店	2,060	3,400	+1,340	+65.0%

当期純利益の範囲内で積極的な株主還元



*企業体質強化や企業価値向上投資のため
一定水準の内部留保資金は確保と認識

2018年3月期

投資有価証券（グループ会社株式）売却益7億48百万円を計上
期末配当金 1株20円（内、特別配当12円）

2019年3月期

当期純利益の範囲内で期末配当金 1株4円予定
（予想連結配当性向 85.6%）

1 2018年3月期決算とトピックス

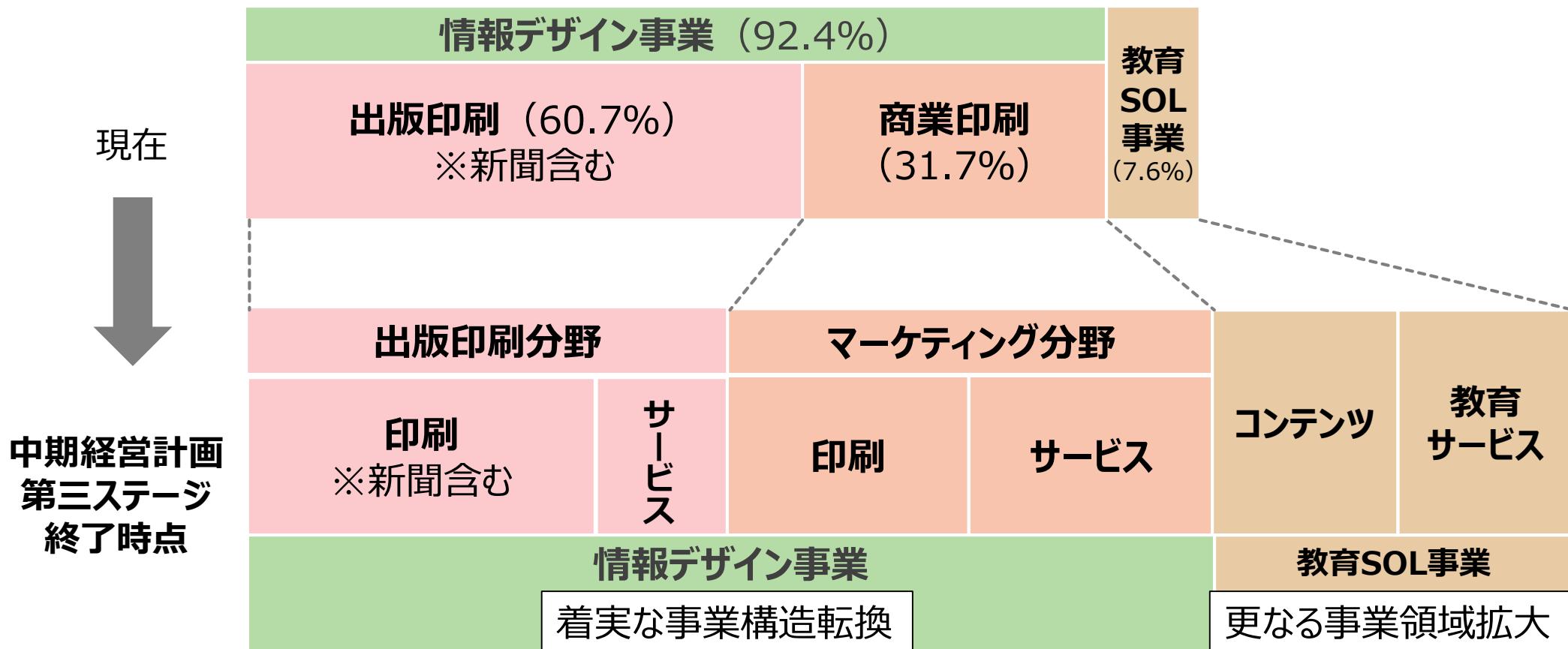
2 既存事業の収益改善について

3 2019年3月期見通し

4 中期経営計画（2017年度～2019年度）の進捗状況

5 ご参考（会社概要・特徴など）

事業ポートフォリオの組み替えと投資内容について



投資項目	2017年度	残額	計
事業構造改革(印刷事業の収益改善)	16億円	84億円	100億円
印刷周辺サービス領域への投資	13億円	187億円	200億円
教育ソリューション事業の拡大			

中長期ビジョン：「情報をデザインする会社」へ

現在の図書印刷

印刷会社

出版印刷

商業印刷

社会の構造的変化

- デジタル化
- ネットワーク化
- メディアの多様化

これからの図書印刷

情報をデザインする会社へ

出版印刷に加え、
**情報発信を
プロデュース**

商業印刷に加え、
**マーケティング活動
全般を支援**

出版印刷分野

コンテンツホルダーのパートナーとして
コンテンツビジネスを支える

+

マーケティング分野

リアル媒体からWebまで総合的な
マーケティング支援サービスを提供

出版ビジネスモデル変化への対応強化

1. 多様化する出版ニーズに対応した事業体制構築
 - ・デジタルショートラン（DSR）導入
 - ・オンデマンド出版
 - ・デジタル・コンテンツ制作力向上
 - ・新たな販売流通に対する支援
2. 電子書店・出版サイトと連携強化
 - ・デジタルファーストへの対応強化加速
3. 個人・クリエイター等コンテンツホルダーへの直接アプローチ

マーケティング機能強化

1. 企画提案力強化
 - ・プロデューサー・プランナーの育成・確保
2. デジタルマーケティング分野への進出
 - ・ビックデータ分析、CRM、MAの活用
3. BPO・ITサービスの開発加速

M & A やアライアンスを活用・推進

「教科書出版事業」から「教育ソリューション事業」への転換



教科書出版事業

- **グループ会社「学校図書」が担当**
- 小中学校の教科書、教材、教育関連書籍を発行
- **教育業務ノウハウを蓄積。近年は、デジタル教材にも対応**



「教育ソリューション事業」として再編。今後の主力事業に

2017年11月

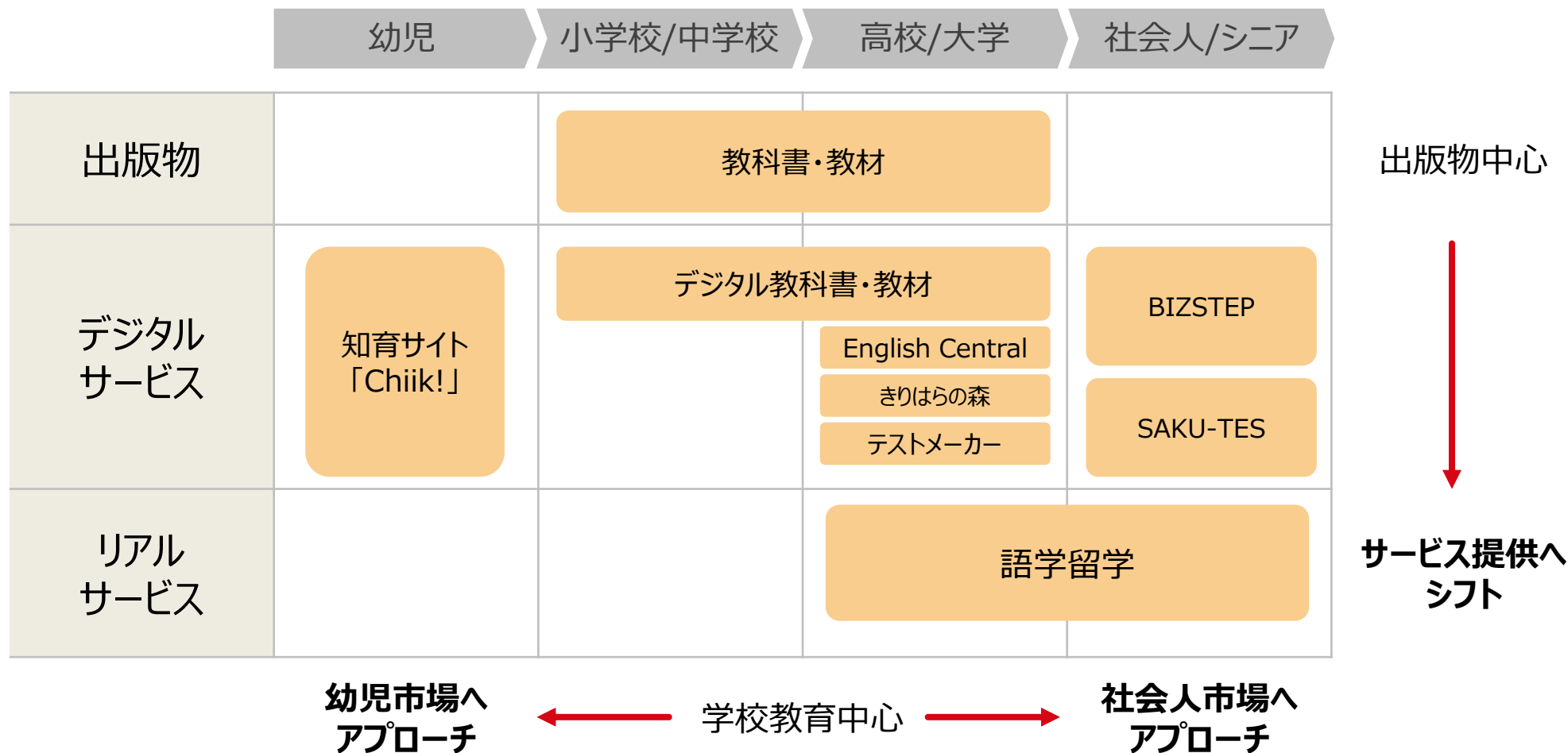
桐原書店の連結子会社化

2018年01月

KGエデュケーションHD設立
学校図書の完全子会社化

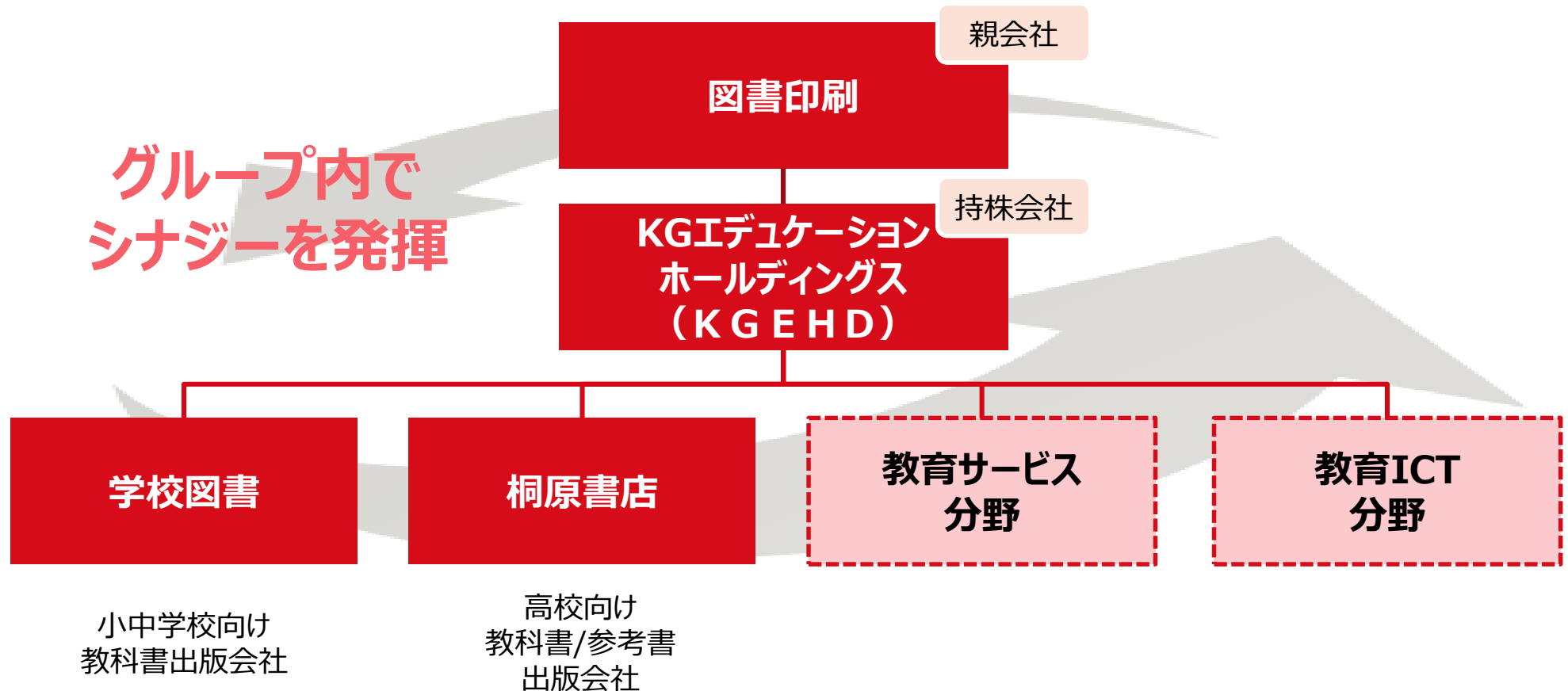
英語を軸とした教育ソリューション事業の展開領域

- 現状、教育ソリューション事業は、学校向け教科書・教材出版を中心とした展開
- 今後、強みである「英語」を軸として、教育コンテンツ・サービスを強化



教育ソリューション事業の体制

- 図書印刷の直下に中間持株会社を置き、その傘下に教育事業会社を束ねる体制
- 今後、積極的な投資で教育関連企業を増やし、シナジーを最大化する体制を構築



桐原書店では、ベストセラー高校生向け英語学習参考書、
大西泰斗先生執筆の、「FACTBOOK」に続く「WORD SENSE」を刊行

著者紹介



大西泰斗 先生
東洋学園大学
人文学部教授

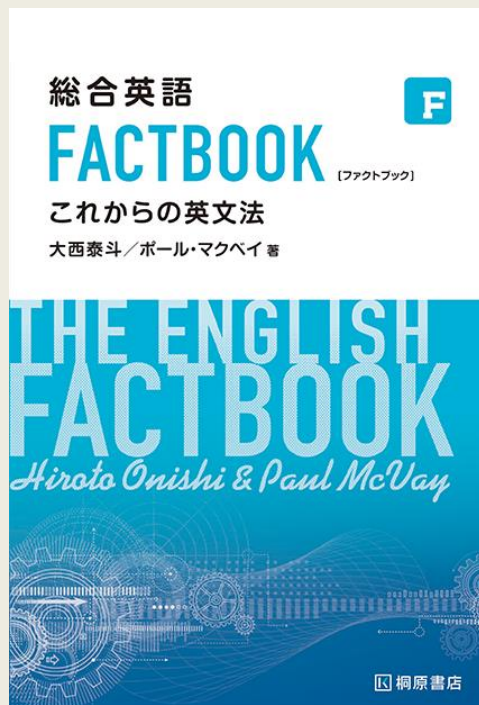


著作『一億人の英文法』
累計50万部の
ベストセラー参考書

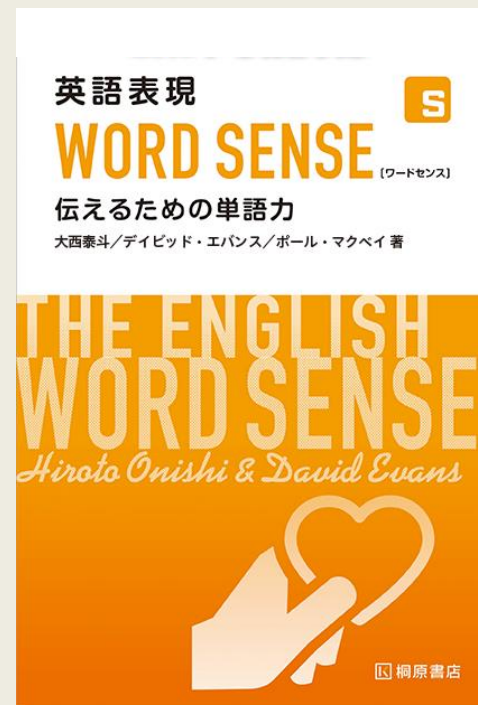


出演『ラジオ英会話』
受講者No.1の定番講座

桐原書店主力商品



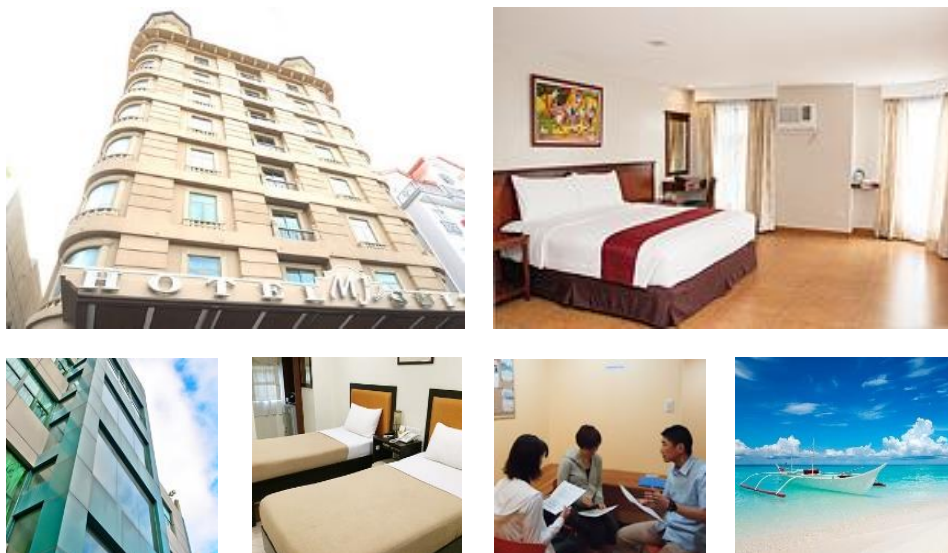
『FACTBOOK』
学校用文法参考書



『WORD SENSE』
英語表現集

桐原書店では、2年前に運営会社を買収しフィリピン語学留学の事業を展開
 現在は、桐原書店監修の高品質カリキュラムにより、企業の活用事例が増加

日本人向けにメンテナンスされた施設



目的に合わせたカリキュラム設計

TOEIC向け



早川幸治先生
 プロデュース
 TOEIC速習講座

その他テキスト例



事前カウンセリングを行い、
 目的に合わせて柔軟にカリキュラムを設計

企業の活用事例

通信
 A社

海外赴任者向け
 異動前速習研修

メーカー
 T社

コールセンター向け
 オペレータ育成
 20名

その他サービス概要

学校名： FEA
 Firstwellness English Academy
 ※TESDA認定校

施設： プレミアム校、シティ校
 ※教室はホテル内に併設

講師：
 5年以上の講師歴もしくは
 英語教授修士号取得者のみ

レッスン量： 1週間単位
 40コマ/週
 50分/コマ

図書印刷が提供するBIZSTEPは、ビッグデータ活用で**個々人の実力に合わせたテストが展開可能**、さらに**学習計画の策定・管理も可能な社会人向けeラーニングシステム**

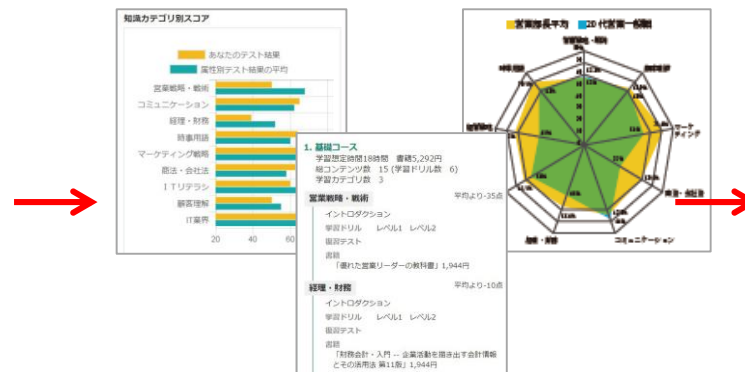
Step 1 (実力判定テスト)

プロフィールに応じた
テストを出題



Step 2 (分析・学習計画)

個人の実力を
ビッグデータで分析



個人の実力に合わせた
学習計画を提案

Step 3 (学習の実施)

管理者（教育担当）が監視・管理可能



教育ソリューション事業 取組紹介④ 乳幼児期の知育サイト「Chiiik!」

- ・Chiiik! (チーク) は、忙しいパパママのための **1記事3分** で読める乳幼児期の子どもの教育や知育に関する、最新から定番まで幅広い情報を取り扱うWebマガジン
- ・スマートフォンやPCで空き時間に簡単に子どもの教育に関する疑問や最新の情報を入手可能



月間 **500,000** PV

月間 **260,000** UU



16,000 いいね

(2018年3月末時点)

- ・ おうち知育
- ・ 季節・しぜん・暮らし
- ・ ことば・絵本
- ・ かず・かたち
- ・ 英語・アルファベット
- ・ アート・音楽・運動
- ・ 知育スポット・イベント
- ・ スクール・ならいごと・受験
- ・ 教育メソッド
- ・ 外国教育事情
- ・ 地域・ライフスタイル



掲載カテゴリー

事業構造転換 + 事業領域拡大



	2016年度 (2017年3月期)	2019年度 (2020年3月期)
売上高	538億円	600億円
営業利益	2.8億円	12億円
営業利益率	0.5%	2.0%
償却前営業利益	20億円	54億円
償却前営業利益率	3.7%	9.0%
R O E	16.9% (※)	1.7%

※株式売却による特別利益を計上した為

1 2018年3月期決算とトピックス

2 既存事業の収益改善について

3 2019年3月期見通し

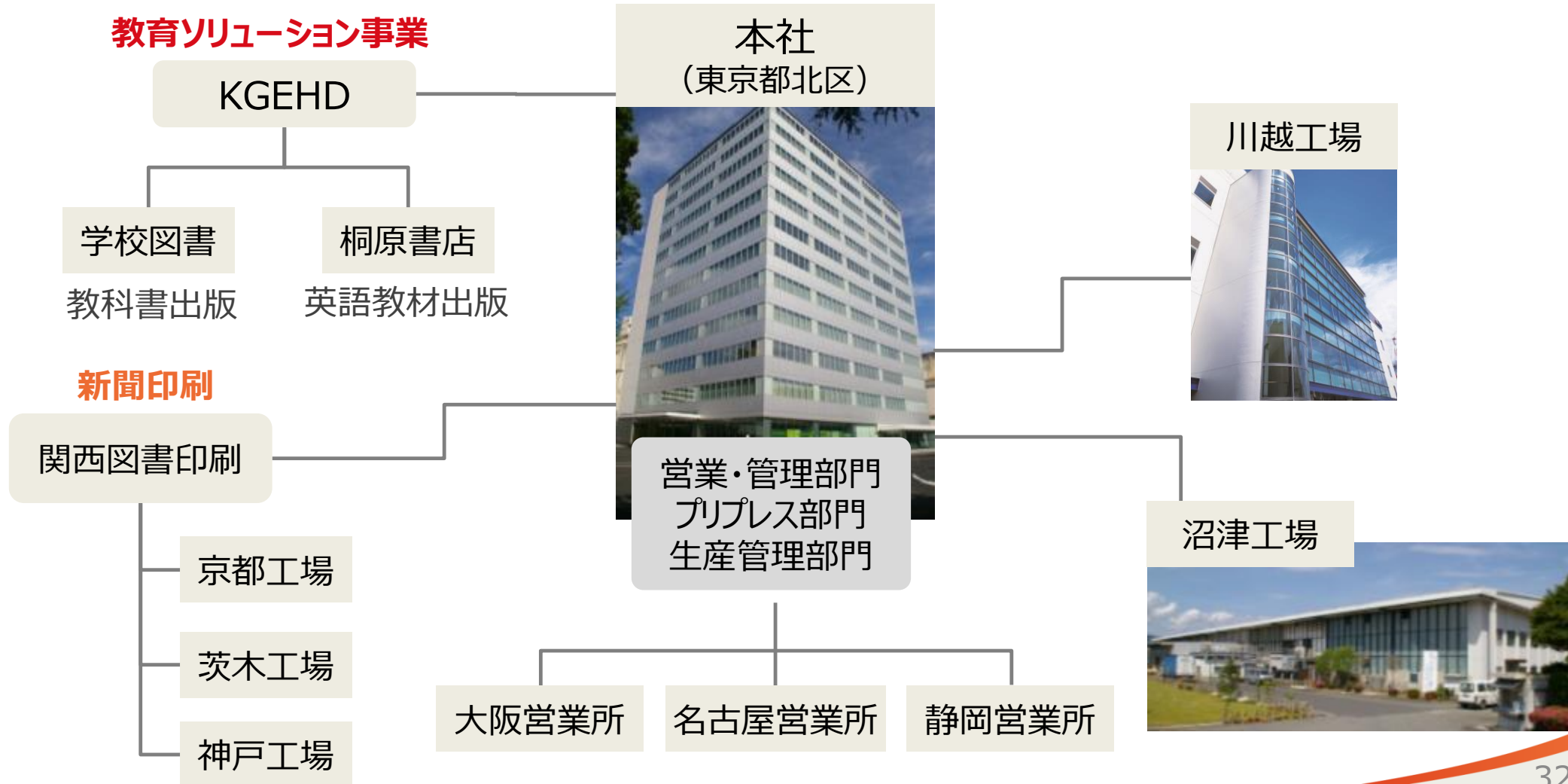
4 中期経営計画（2017年度～2019年度）の進捗状況

5 **ご参考（当社概要・特徴など）**

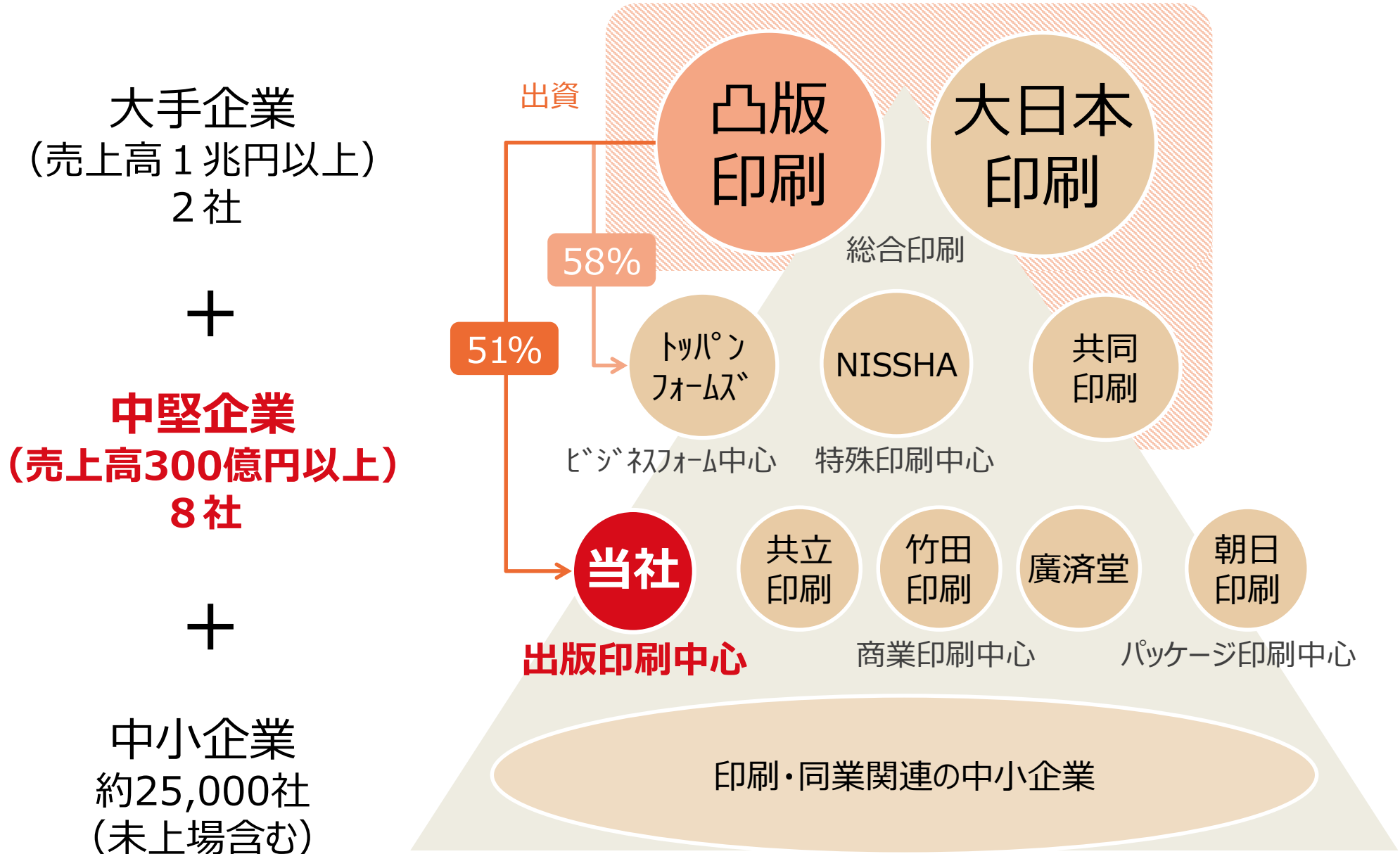
事業展開： 拠点は法人印刷需要多い「東名阪」に配置

印刷需要を的確・迅速にサポートするため、人口集積度の高い東名阪中心。

KGIデュークエーションHDを中心に教育ソリューション事業を展開。関西地区では、新聞印刷工場も運営。



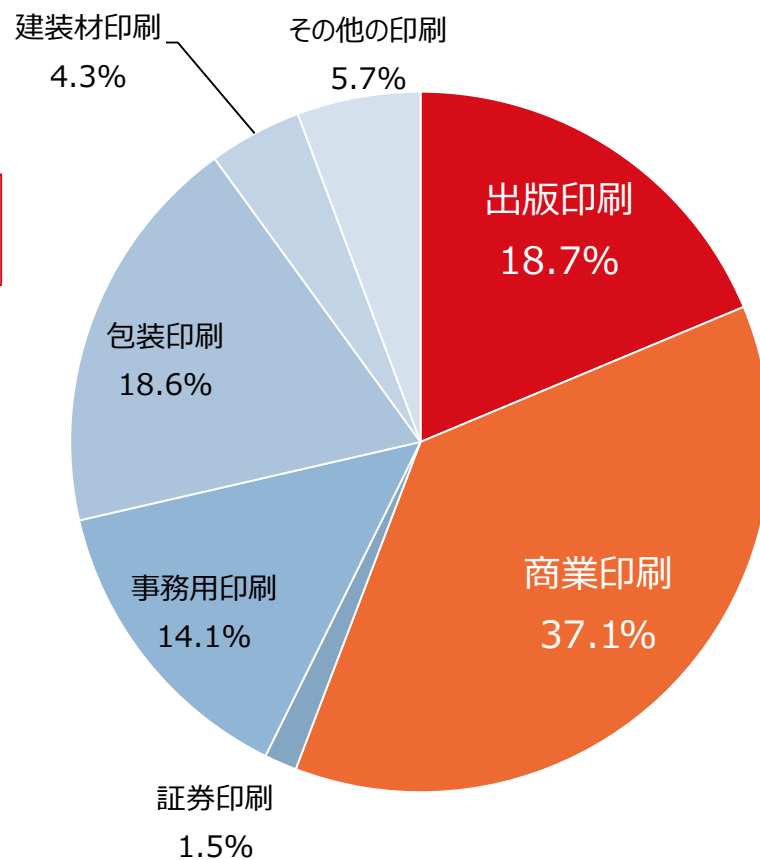
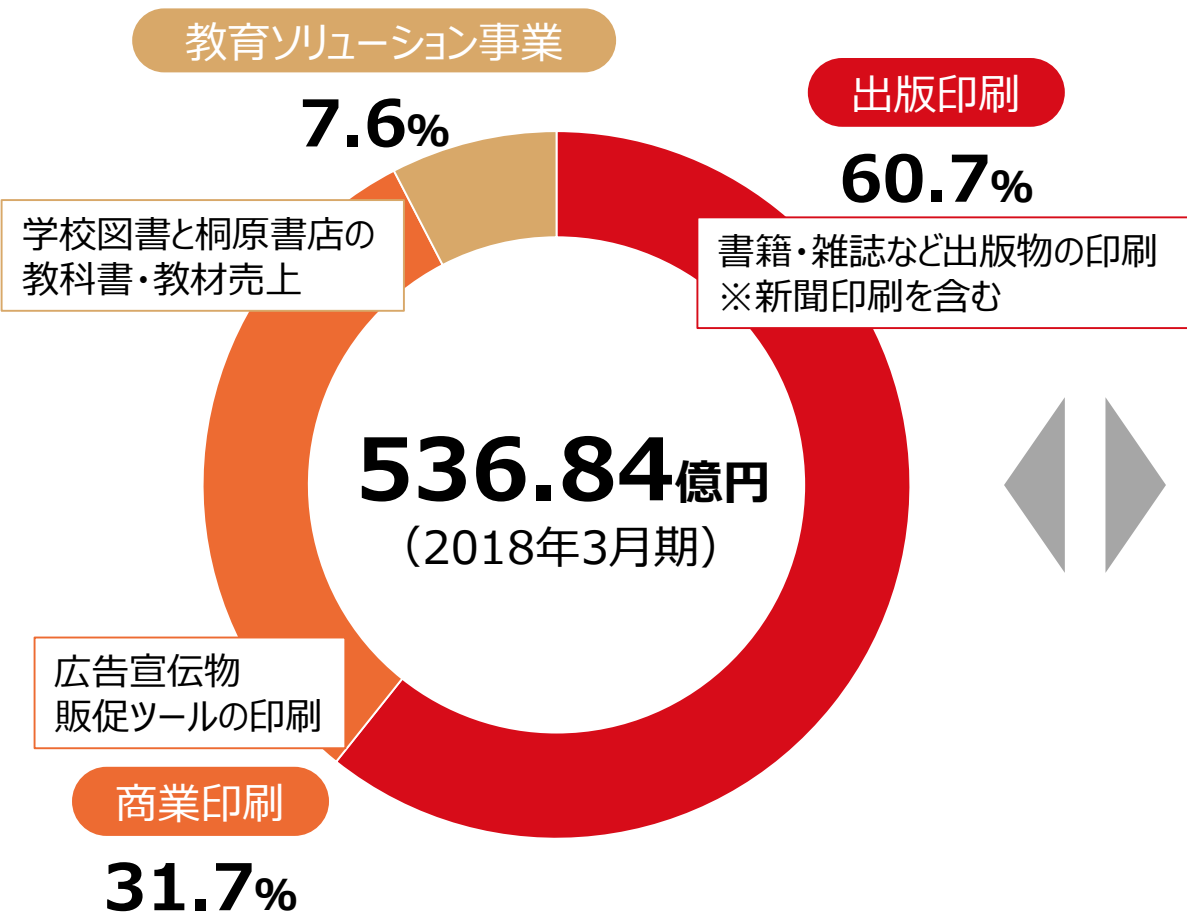
印刷業界構造と当社のポジション：大手2社＋中堅8社でシェア約50%



売上構成： 出版印刷が6割と業界と比べて多い

当社 出版印刷6割、商業印刷3割強

印刷業界 出版印刷2割弱、商業印刷4割弱



印刷業界・印刷品目別生産金額
経産省「生産動態統計」2015年度

顧客基盤力

- **100年を超える歴史**で醸成された大手出版社など堅固な**顧客基盤**
- 書籍・雑誌の**出版印刷が主力**で、出版社の企画・編集・制作部門との繋がりが強い

製造技術力

- 「**大ロット印刷ライン**」を保有することで、出版物の印刷を中心に大部数でも、高度かつ安定した品質を提供できる
- 「**一貫製造体制**」がある
- 「**高い製本加工技術**」に裏付けられた、**高品質・付加価値印刷物**が提供できる

教育・文化事業ノウハウの保有

- **教科書・新聞印刷**を通じて、「文化・教育分野」における長年の実績とノウハウを保有している

免責条項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。

お問合せ先

図書印刷株式会社 CSR推進部 広報G

ir@tosho.co.jp

2018年5月

 図書印刷株式会社